

2024. 9. 27

<配信枚数2枚>

報道関係者 各位

- 身近に潜む SDGs の疑問に、Z 世代のリアルな視点で切り込む -

SDGs を身近に感じるラジオ番組『リアラー』放送開始

放送期間：2024 年 10 月～2025 年 3 月 毎週水曜

立命館大学産業社会学部の坂田謙司教授が担当する「ラジオを中心とした音声メディア研究」ゼミは、京都市北区のコミュニティラジオ局 Radio Mix Kyoto で、SDGs をテーマに、Z 世代のリアルな視点から切り込む番組『リアラー』を 10 月 2 日(水)より約 6 カ月間、毎週水曜日に放送いたします。

本件のポイント

- 学生たちが SDGs の疑問に本音で切り込むラジオ番組を制作
- 6 年目の今年は、SDGs の本質を問う『夢見る SDGs』コーナーを企画
- 京都市北区で SDGs に取り組む方々へのインタビューを通じ、地域の方々の活動や思いをリアルに伝える

坂田ゼミでは、番組制作を通じて、地域メディアと地域社会との関わりを学ぶ活動を行っており、今年で 6 年目を迎えます。今回の新番組『リアラー』では、リスナーと同じ目線で SDGs に向き合い、難解に感じられがちな課題を身近なものとして捉え直します。地域で実際に行われている取り組みや、普段は目にしにくい SDGs の活動にスポットを当て、誰もが一步踏み出しやすくなるような情報を発信します。これにより、地域社会の活性化と SDGs の普及に貢献することを目指します。

記

期 間 : 2024 年 10 月 2 日(水)～2025 年 3 月 26 日(水) 毎週水曜日
19:00～19:50(再放送 23:00～23:50)

番組名 : リアラー

放送局 : Radio Mix Kyoto(京都市北区小山上総町)

番組内容 : 本学の学生が SDGs をテーマに、京都市北区をフィールドとして、地域で SDGs に取り組む方々の活動を紹介します。さらに、Z 世代の学生同士で SDGs に関するトピックについて真剣に討論し、持続可能な未来への取り組みを探ります。

番組制作 : 産業社会学部 坂田謙司 教授
「ラジオを中心とした音声メディア研究」ゼミ 3 回生 6 人

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:池田 TEL. 075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumeit.ac.jp

別紙

■ラジオ番組内容

◆ コーナー1「夢見る SDGs」

身近な SDGs テーマを取り上げ、学生たちが本音で討論するコーナーです。紙ストローやエコバッグ、ヘッドネーション、あだ名禁止など、日常生活に関わるさまざまな話題を SDGs の視点から掘り下げ、活発なトークを展開します。

◆ コーナー2「いちあざー」

専門家や研究者だけでなく、地域で SDGs に取り組む人々の活動を紹介します。取り組みの背景や課題に触れ、SDGs の本質を探り、リスナーと共に考えるコーナーです。

◆ コーナー3「チーム別コーナー」

個性的な3つのチームが、それぞれの視点や特色を活かして企画を展開します。各チームのそれぞれの視点から、SDGs への理解を深め、地域の課題にアプローチしていきます。

■学生による番組への意気込み、チーム別コーナー紹介コメント

●チーム「パンクハザード」

初回放送では「安全な水とトイレを世界中に」をテーマに、河川の水質問題について取材します。水質改善における具体的な方策を示しながら、徹底的に討論していきます。遠慮のない本音トークで頑張ります。

●チーム「レジ前のいちご大福」

社会により良い行動をしている人たちを取材し、学生ならではの疑問などをぶつけます。子ども食堂を取材し、リスナーの方に楽しく聴いていただけるようなコーナーを準備しています。正反対の2人でお送りするラジオをお楽しみに。

●チーム「純米大吟醸」

「つくる責任。つかう責任」をテーマに、人々の意識定着が進むリユース、リサイクル事業が人々の流動性が高い京都の街でどのように行われているのか取材し、大学生の視点から発信していきます

■Radio Mix Kyoto について

2016 年 5 月に誕生したコミュニティ FM 放送局。「地域と大学の連携」をコンセプトに、京都市北区と上京区の一部を主なサービスエリアとしています。